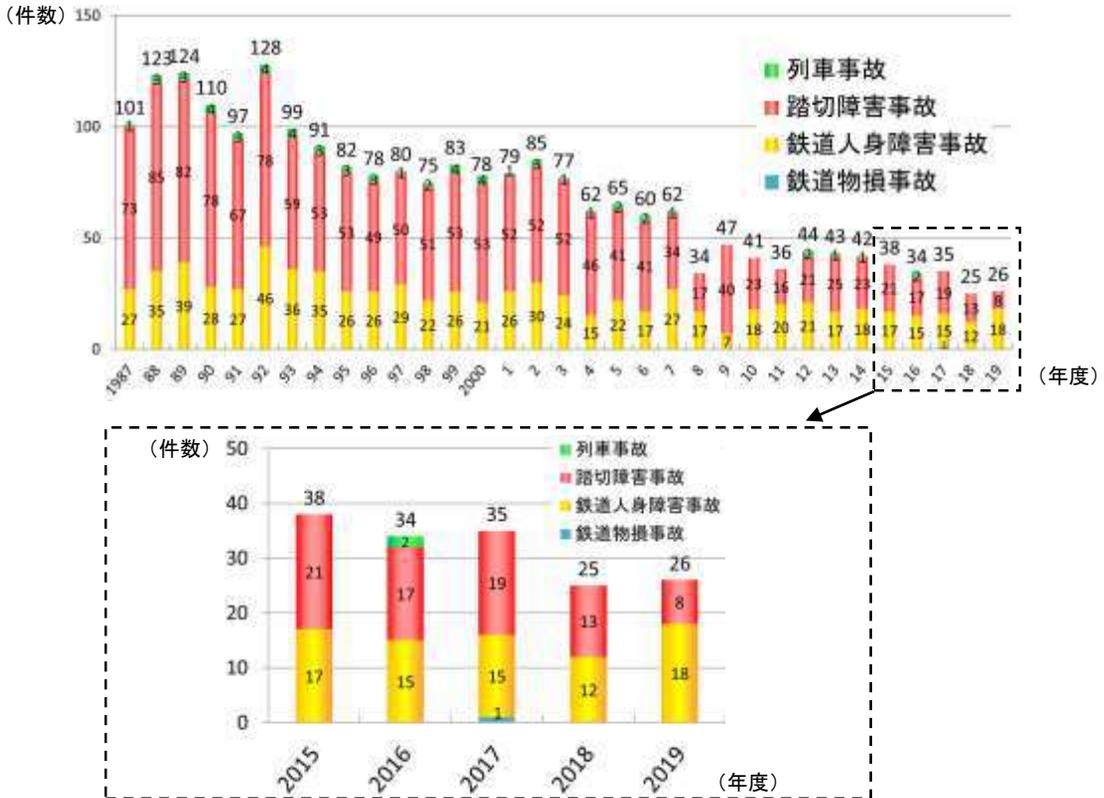


5 鉄道運転事故等の発生状況

5-1 鉄道運転事故

2019年度は、鉄道運転事故が26件発生しましたが、踏切障害事故はJR発足後で過去最少でした。また列車事故の発生はありませんでした。

■鉄道運転事故の発生状況

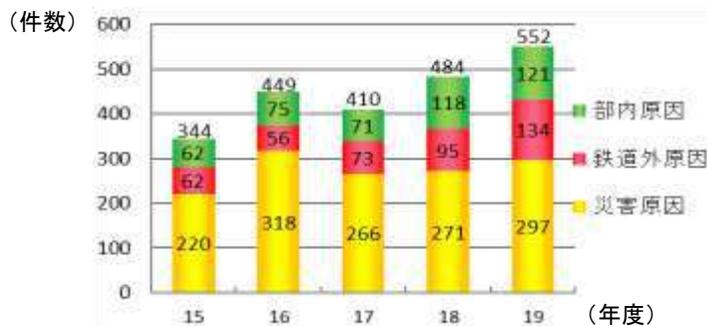


鉄道運転事故	説明
列車事故	列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故
踏切障害事故	踏切道において、列車又は車両が人又は自動車等と衝突し、又は接触したもの
鉄道人身障害事故	列車又は車両の運転により人の死傷を生じたもの
鉄道物損事故	列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じたもの

5-2 輸送障害

輸送障害とは、鉄道運転事故以外の原因により列車の運休または旅客列車が30分以上、旅客列車以外の列車が1時間以上の遅延を生じたものをいいます。2019年度は552件発生しました。

■輸送障害の発生状況



輸送障害	説明
部内原因	鉄道関係係員や車両・設備等、当社の直接原因によるもの
鉄道外原因	線路内立入り等、当社の原因によらないもの
災害原因	降雨、強風、地震、獣害等の災害に起因するもの

5-3 インシデント

インシデントとは、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。
2019年度は、施設障害に分類される事象が2件発生しました。

●長崎本線 伊賀屋駅構内 遮断桿が降りていない踏切を列車が通過

発生日時：2019年9月22日 22時11分頃

発生場所：長崎本線 伊賀屋駅構内

概況：伊賀屋踏切の故障検知を認めたため確認を行ったところ、遮断桿の降りていない伊賀屋踏切を列車が通過したことを認めた。調査したところ、停電の影響で踏切が動作しない連絡を受けていたものの、伊賀屋踏切を通過する列車が無いと思込み、踏切通過予定の列車を駅から出発させない手配を行っていなかったことが判明した。

原因：停電の影響で踏切警報停止処置を行っている踏切に列車を進入させたため。

対策：列車又は車両を進入させない処置を行った上で踏切警報停止処置を実施する。